

柿其溪谷



【日時】

2019/8/3（土）～8/4（日）

【参加者】

GL 岸野 SL 上茂 平野 砂田 小原（記録）

【行程】

・ 8/3 柿其溪谷支流／岩倉沢（支流樽ヶ沢と本流）

岩倉林道ゲート前 P8 : 05→樽ヶ沢橋入溪 8 : 20→遡行終了 10 : 15→左岸作業道 11 : 00→
岩倉沢本流 11 : 15→岩倉林道ゲート 13 : 00

・ 8/4 柿其溪谷

柿其溪谷 P9 : 50→牛ヶ滝 10 : 45→ねじ樽手前より沢下降 12 : 45→脱溪 14 : 00→柿其溪谷
P14 : 20

* 前夜発、庚申川雨天による増水を危惧し柿其溪谷へ転進。

◆8/3（土）晴れ

仮眠先道の駅大桑より岩倉林道ゲートへ。

ゲートが開いていたので先まで様子を見に行くが、工事車両の方より「ゲート閉まったら出られなくなるよ。」との事、ゲート前まで戻り駐車する。

初日は夕飯のおかず獲得の為、岩倉沢支流、本流、釣り主体の遡行となる。

まずは支流の樽ヶ沢から、入溪すぐ2段のナメ滝をこえると、手掛かり乏しい大岩を乗越す地帯、超寝不足＋エンジンかかる前の力技がづらいところ。

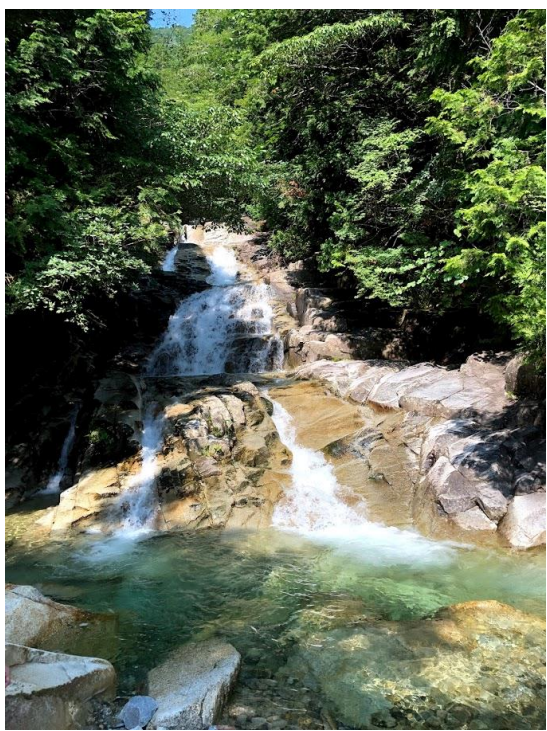
しかしながら、こじんまりした支流なのにエメラルドグリーンの釜とナメっとした岩肌、明るく非常に美しい渓である。いい感じの滝と釜が続々、釜に浸かったり、ミニウォータースライダーで遊びながら、ロープを出した滝は1ヶ所あったが、サクサク登ってしまいすっかり夕飯獲得のことを忘れていた。2時間程登ったところで幅細数段滝前の釜で竿を出す。2発目でかわいいアマゴをゲット。情報によると、支流は入れ食いらしいのだが、支流はここで遡行を終了することとなり1匹止まり、左岸登り作業道より入渓点へ戻る。お魚1匹では・・・なのでCLと私は本流へ釣りに行き、他のみなさまは良きビバーク地を探しに、2時間後に車集合とする。本流は既に釣り師入渓済みのご様子でなかなか当たらずの中CLがイwanaを1匹！私もどうにか1匹ゲットでうかれ川縁で写真撮影なんかしたもんだからバラし勢いでブドウ虫も一緒に落下、本日の釣果2匹で終了。ビバークは止めキャンプ場へ移動、途中通り雨だが結構な雨量となり、タープの下は水浸しになってしまった。結構降ったので明日の水量を気にしつつ、遡行図とにらめっこしながらゴロゴロしていたらいつの間にか眠りについてた。



岩倉林道ゲート



岩倉橋より入渓





かわいいアマゴ

岩倉沢本流

◆8/4（日）晴れ

キャンプ場泊りですっかりリラックス、優雅な出発時間に。

本日は水に浸かる為、ウエット、ライジャケで重装備の我々に対し、隣に駐車した若者パーティーは半袖。世代ギャップを感じた。駐車場よりすぐ河原となり入水直後に泳ぎとなる。なかなか冷たい！見た目穏やかな流れだが、思うように進まないもので、ロープを出してもらおう。スクラム、泳ぎとじわじわと進み、牛ヶ滝まで目と鼻の先なのに結構時間がかかった。牛ヶ滝は登れないので手前左岸ルンゼより一般遊歩道まで上がる。そこから遊歩道を離れピンクテープ通り20分強進む、水を離れるとウエットは灼熱の中のサウナスーツ状態でCLと私はゆでだこに。沢風呂でしばしクールダウン。その後も泳ぎ箇所が多くなるが体が慣れたせいか、水の冷たさも感じず寒くなることはなかった。ねじ樽手前長い廊下状は右岸を高巻くのだが、結構な高巻きになりそうだったことと、戻り時間が迫っていた為、遊行終了とした。帰りはしながら楽々沢下降。早い時間の下山となった。



GLのヤツメウナギ!



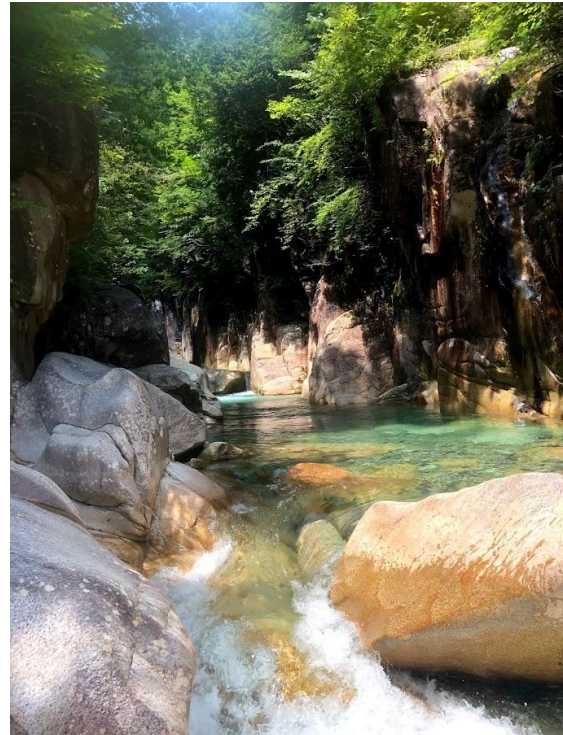
なかなかの激流



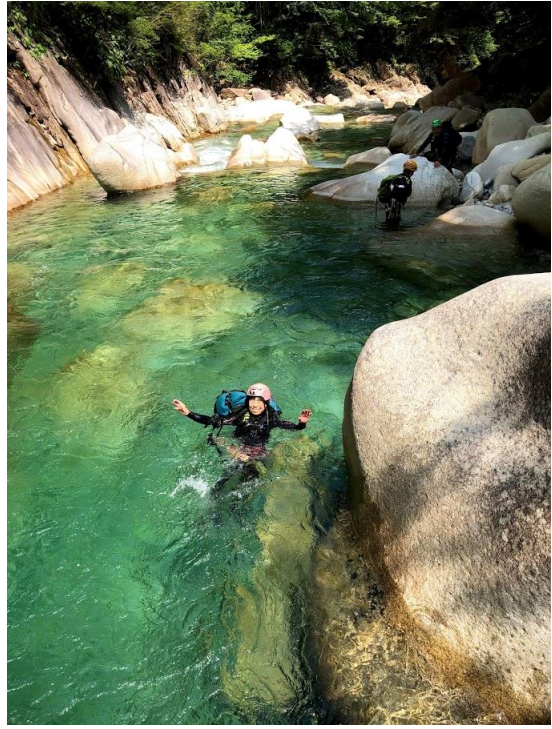
迫力の牛ヶ滝



廊下が続く



歩けそうだけど泳ぎ



穏やかな流れ箇所の沢下降は楽々～

ず～っとず～っと行きたいと思っていた、柿其溪谷。急遽の転進で今回は下部のみでしたが、思った通りの素晴らしい溪でした。

会中で泳ぎの沢がほぼなくあきらめていた場所でしたので久々に心踊りました。

次回は完全遡行しましょう♪